

# NBRP ナショナルバイオリソースプロジェクト 検索高度化の取り組み



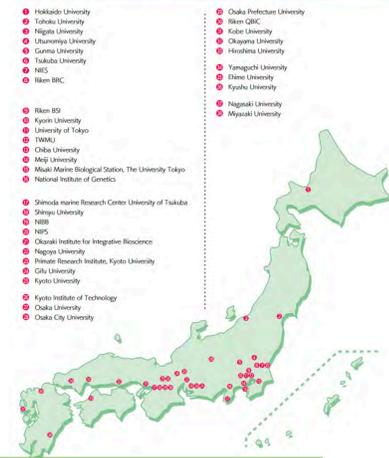
木村学<sup>2</sup> 川島靖史<sup>2</sup> 木村紀子<sup>1</sup> 佐賀正和<sup>3</sup> 坂庭美春<sup>3</sup> 庄司健人<sup>2</sup> 土屋里枝<sup>2</sup> 萩原宏紀<sup>2</sup> 渡辺拓貴<sup>2</sup> 鈴木栄美子<sup>1</sup> 安井香織<sup>1</sup> 川本祥子<sup>1</sup>

(1) 情報・システム研究機構 国立遺伝学研究所 (2) 日本ソフトウェアマネジメント(株) (3) (株) ホロニクス



## NBRP ナショナルバイオリソースプロジェクト

ナショナルバイオリソースプロジェクト (NBRP) は2002年にスタート全国のリソースセンター並びに理研バイオリソース研究センター (BRC) の継続的な努力のもと、研究を支えるインフラとして成長した。遺伝研NBRP情報センターは、リソースのDB構築を支援するとともに、リソースの分譲を中心とする利用者サービスサイトを担当している。現在、NBRP全体では650万件のリソースが存在する。データの内訳をリソース別にみると、動物リソースに属するデータ数が最も多く360万件、ついで植物リソースが250万、微生物リソースが40万弱で、全体の9割がcDNA等のDNAリソース、1割が変異体や野生種などの生物種となる。全体の種数は約8,500種で微生物に種類が多い。保有リソースを探索する手段として、表形式による閲覧の他、全リソースの総合検索、個別リソースの詳細検索を提供してきたが、各生物を専門とする研究者以外には利用しづらい面があった。疾患研究への利用や育種への利用など、種を横断する情報提供への取り組みについて報告する。



理研BRCと全国の大学・研究所38機関がリソースを担当



## 現在のデータベースと検索の概要

30 Organisms      100 RDBs      6.5M Records

## NBRPデータベースのRDF化

✓ D2RQ Mapperを用いたNBRP・DBのRDF化

✓ バイオリソースRDFスキーマの設計  
with DBCLS、理研BRC

Poster24      バイオリソースデータRDF化への取り組み



✓ NBRP エンドポイントの公開

✓ TogoStanzaによるリソース情報可視化

✓ 生物種間統合データベース検索

オーソログやフェノタイプから生物種横断的にリソースを検索する統合型検索システムの開発を理研BRCのシステムをベースに計画中